

回答者（H母）：日本語力について心配な事は、次の2点。

① 助詞の理解が難しいこと。今小1の兄がいますが、算数の問題に「右から3匹丸で囲め」「右から3匹めを丸で囲め」の違いが分からず間違えていました。息子には話し言葉で理解していても書き言葉として理解できなかったのかなと感じました。その後、簡単な説明で違いを理解しました。難聴児はこうした助詞を見て、その意味と日本語(ひらがな)とを結び付けることに工夫と繰り返しが必要だと想像し、今後心配です。

↑

矢沢国光（ろう・難聴教育研究会）からのコメント：

聴児も難聴児も、こうした言葉の理解は、同じです。要は、

（1）意味が言葉に先行する。

（2）「3匹」と「3匹目」のちがいは、集合数と順序数のちがいです。ことばを教える前に、集合数と順序数のちがいを、実物を使って理解すること。集合数がまずあって、集合数を大きさの順に並べものが順序数です。

（3）順序数としての3，4，5…をことばで表すと、3番（匹、個、つ等）目、4番目、5番目…となる。意味にことばをくっつける。

「ことばがわからないと算数がわからない」とよく言われますが、これは、聴こえる/聴こえないに関係ないことです。参考にしてください：[http://deafmath.web.fc2.com/watashi/yazawa\\_kotoba.pdf](http://deafmath.web.fc2.com/watashi/yazawa_kotoba.pdf)

② 難聴児は音を聞いて、初めて知る言葉の意味を理解できない点が心配です。聴児の姉、兄はテレビなどを見たり、街の放送を聞いて、知らない言葉を聞いたら「どういう意味？」という会話をして言葉を知ることができます。

難聴児には音声からの情報が少ないため、聴児に比べて学齢に相当する言葉の理解が不足するのではと心配です。また、漢字の音読み・訓読みの違いを理解するのが難しいのでは？という心配もあります。聴児の姉も読み間違いをよくしていますので、難聴児だとより間違いやすいのではないかと思います。（「用いる→よういる」と読む等）一緒に辞書で調べる、文字を読む習慣をつける、ルビを付けるような工夫が必要なのかなと考えています。

私も先輩保護者さんやろう学校の先生方に質問したい所です。以前先輩保護者の講演会で伺った、読書が大好きなお子さんのように娘にも読書を楽しむ習慣作りをしたいなと考えています。